

Awara News

あわらニュース vol.71

平成30年2月1日発行

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



第3回あわら病院市民公開講座開催

地域医療連携係長 坪田 希

12月16日(土)、本荘公民館において「第3回あわら病院市民公開講座」を開催しました(後援:坂井地区医師会)。当院では、地元地域住民の方々が興味のある病気の話や、日頃の健康に関する情報を提供し、健康に関心を持っていただき、地域への貢献を果たすことを目的に、平成28年から市民公開講座を開催しています。

今回の講演は2題で、まず桑田老年科長より「認知症と運転免許」と題し、認知症の種類・症状・治療を説明した上で、高齢で運転を続けることによるリスクをお伝えしました。つづいて認知症みまもり隊(当院看護師)より「家族が認知症!あなたならどう関わる PART II」と題し、身近な事例を使った演劇を行い、認知症の家族との関わり方について考えていただきました。

これを機会に、ご自身・ご家族の健康と、車が暮らしに欠かせない移動手段となっている中、安全運転を続けられるかどうか、車のない生活をイメージし、少しづつ準備をしておくこと等一度ご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。ご参加いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。

2018年を迎えて



副院長
見附 保彦

既に多くの都道府県で地域医療構想が策定され、社会保障・税一体改革における「2025年モデル」の構築に向けた動きがいよいよ本格化してきました。この4月には診療報酬と介護報酬の同時改定のほか、医療計画、医療費適正化計画、介護保険事業計画、および介護給付適正化計画など様々な制度・施策の見直しが行われ、その動向が加速するのは必至と思われます。

これら制度改革の根本にあるのが、「病院完結型」から「地域完結型」への転換と考えられます。地域の他の医療機関や介護事業者などと密に連携し、地域全体で患者を診ること、そのためには地域における自院の役割を明確にすることにいち早く取り組むことが、

今後の病院の在り方として重要であると考えています。

当院は、障害児(者)医療、長寿医療、血液・リウマチ医療を政策医療に掲げるとともに、「Hospital in the home, Home in the hospital」を中心とした地域密着型医療体制を築き上げることを目標とし日々精進しております。

社会がどのように変わっているとも、地域から求められていることは何かを常に考えながら、より安全で良質な医療と介護を提供できるように職員ひとりひとりの力を結集して、来るべき時代の要請に当院の役割を十分果たしていきたいと願っております。

今年一年、さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、2018年が皆さんにとりまして佳い年になりますことをお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。



総合診療専門研修プログラム

総合診療科科長 鈴木 友輔

平成30年4月よりいよいよ新専門医制度が開始されます。当初は平成29年4月開始予定でしたが地域医療崩壊に対する懸念が強く平成28年8月に開始が1年延期されておりました。延期後の議論で専攻医の大都市圏への集中を防ぐことやへき地・過疎地での研修が義務となるなどの修正が加わり平成30年4月1日より施行開始が決定されました。

新専門医制度の施行に伴い新たな基本専門領域として総合診療領域が位置づけられ、他の18領域とともに総合診療専門研修プログラムが開始されます。総合診療専門研修プログラムでは従来行われていた日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラムver.2と研修内容が重なる部分が多いですが、総合診療の基本となる内科研修が12か月必修となったり地域の診療

所や中小病院だけでなく一定規模の病院における病棟診療や救急診療も必修化されるなど変更点が加わりました。これは従来の家庭医療専門医が外来診療や在宅診療にやや偏り気味であったことに対して病棟診療とのバランスを保つための措置とも考えられます。

あわら病院で日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラムver.2の認定を受けており、総合診療専門研修プログラムについては日本専門医機構からの認定を受けることが出来、現在のところ専攻医を募集中です。今後も地域医療に貢献し続けると同時に教育活動にも力を入れていきたいと考えております。



地域医療連携施設のご紹介

あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

坂井医院



当医院は、昭和32年芦原大火の後、現在の北陸銀行芦原支店の地（現在は駐車場）に先代（故）坂井俊道が坂井医院を開業しました。昭和45年に現在の温泉5丁目に新築移転しました。

私は昭和59年より先代の死去にともない医院を継承しており、地域のみなさんには半世紀以上に渡り親しまれています。私は内科全般を中心にプライマリーケア医として仕事をしています。入院施設や高度の医療検査機械はありませんので、あわら病院にお願いしたりしています。

院長 坂井寿範

坂井医院

〒910-4104 あわら市温泉5-1811 TEL.0776-77-3060

診察時間	月	火	水	木	金	土	備 考
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	休診日／日・祝
15:00～18:00	○	○	○	×	○	×	

「退院前訪問指導」って!?

主任理学療法士 山口まゆみ

リハビリスタッフは、在宅生活に向けて入院中にリハビリテーションを行った患者さんに対し、退院後の快適で豊かな生活を送っていただけるよう、実際の生活の場となるご自宅を訪問し、身体の状態や家屋構造、介護力等を考慮し、当該患者さん又はご家族の方等に、以下のような在宅生活での必要な支援・相談等を行っています。

住まいや環境整備へのサポート

生活動作を安全に行う工夫が必要な場合、手すりの設置や段差への対応、歩行用具や入浴用具など福祉用具の選択や住宅改修に関する助言など行います。



【入浴用具の設置】



【置き型手すりの設置】

自宅での運動方法の説明

自宅で行える関節や筋力の運動の仕方や、起き上がりや立ち上がり方法など実際の場面でより安定した動作が行えるようポイントをわかりやすく説明します。

介護方法の説明

安心・安全を確保したうえで、患者さんの最大限の能力を活かした介護方法を説明します。

在宅医療ネットワークとの連携にて安心サポート

看護師、ケアマネジャー、相談支援専門員、福祉用具業者等の関連職種と同行し、在宅生活に向けての必要な相談を行います。

外来担当医表

(平成30年2月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総 合	内 科	津谷 寛	鈴木 友輔	大槻 希美	見附 保彦	宮崎 晋介
	小 児 科	大坂 陽子*	川満 徹*	大坂 陽子*	湯浅 光織*	川満 徹*
	リウマチ			津谷 寛	津谷 寛	
	血液・腫瘍			浦崎 芳正*	大槻 希美(第2・4)	
	痛 風				津谷 寛*	
	生 活 習 慣 病			鈴木 友輔(第1・3)		
	老 年			桐場 千代(第2・4・5)		棄田 敦
	神 経			遠藤 芳徳(第1・3・5)		
	循 環 器	見附 保彦	見附 保彦			
	外 科	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢
専 門	整 形 外 科	奥 規博				
	眼 科				吉岡 達也*	
	皮 膚 科		若原 真美			若原 真美
	地 域 ケ ア	鈴木 友輔				
	禁 煙 外 来	見附 保彦	見附 保彦			

●受付時間8:30～11:30 ●黄色枠は予約制 ●*印は午後診察 ●休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

※禁煙外来の診察は、月曜日(8:30～11:30)・火曜日(10:00～12:30)です。

療育指導室便り

主任児童指導員 佐々木直人

平成30年4月から「障害福祉サービス等情報公表制度」が施行される予定です。利用者が個々のニーズに応じて良質なサービスを選択できるようにするとともに、事業者によるサービスの質の向上が重要な課題となっているためです。公表事項は、大きく「基本情報(事業所等の所在地、電話番号、従業員数、サービス内容等)」と「運営情報(利用者の権利擁護の取組、サービスの質の確保の取組、適切な事業運営・管理体制等)」に分かれ、利用(希望)者がインターネット上でいつでも事業者の情報にアクセスすることができるよう、全国一元的なシステムが整備されることです。

平成29年4月から、当院の入所や通所をご利用の重症心身障がい児(者)の方々の、季節の行事や日中の活動時の写真を、本人・ご家族の了承を前提にあわら病院のブログにアップしていますが、情報に厚みが増すことになり、さらに情報とサービスの実際それが切磋琢磨するかたちで中身の濃いものになっていくことが求められていくでしょう。



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249
(地域医療連携室) TEL.0776-79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261
URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北潟花菖蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、またはホームページ(交通案内)をご覧ください。